

12月議会報告

コロナ対策

医療・介護・保育の職場でPCR検査を

【砂田市議】コロナでやっかいなのは、無症状者が感染させている。そこで医療・介護・保育の職場でPCR検査を定期的に実施し、その財源を全額国に負担させるように求めるべきではないか。全国的には自治体独自で検査をし、国に財政負担を求めているところも出ている。医療機関等への負担の懸念については、市内でも唾液での検査やドライブスルーで検査できるようになっている。

「財政的な問題で、困難」

民生部長

【民生部長】検査費用は莫大で、費用対効果が期待できず、定期的なPCR検査の効果は大きい。実施は困難だ。財源的な問題が大きい。

新型コロナウイルス感染症の今後の感染状況、それと、国等の施策の動向を見守っていききたい。

インフルエンザ予防接種助成

【砂田市議】インフルエンザ予防接種助成について、今年度限りにはしないで、来年度以降もちゃんと続けていくこと。ましてや、来年度から1回当たり補助額を2000円から10000円に削ってはならない。

【民生部長】県において、未就学児に対する助成制度を来年度以降も継続することや、今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況並びにコロナ禍におけるインフルエンザ自体の感染状況等も見極めながら、今後慎重に検討してまいりたい。



新日本婦人の会小矢部支部 桜井市長に予算要望

新日本婦人の会小矢部支部（支部長・上田由美子氏）は1月7日、桜井市長に2021年度予算に対する32項目の要望をし、懇談しました。

少人数学級実現を

小中学校の30人学級早期実現や、多人数学級支援講師を小学4年生以上にも配置すること、学校の統廃合をしないこと等を求めました。

旧おとぎの館を児童館に

旧おとぎの館を、雨の日に遊べる児童館として子どもたちに開放すること、青少年ホーム跡地を公園として利用できるようにすることなども求めました。

ジェンダー平等社会をめざし、「女性差別撤廃条約の選択議定書」の批准を働きかけること、男女の賃金格差是正、女性の正規雇用を増やすこと、女性管理職の登用促進やそのための環境づくりを求めました。

減免制度の改善を

【砂田市議】コロナ禍のもとで、国税や住民税、介護保険料、後期高齢者医療保険料などが前年所得比3割減免される制度ができた。これらの税や保険料は前年所得によって算定されると、国も認めたことになる。

ところが介護保険料や後期高齢者医療保険料はコロナで減収なら対象になるが、高齢で仕事を続けられなくなるなど別の事情だと7割減収でないと減免の対象にしない。貯蓄があれば、1年間ぐらいのしるかも知れないが、それがないと、食べるものを削るとか、生活を切り下げないとやっていけない。これは不合理だ。ぜひ、介護保険料や後期高齢者医療保険料の減免制度の改善を働きかけてもらいたい。

【民生部長】コロナにかかわらず所得の減少に伴う場合、本市と同じ基準に基づいて減免されれば、生活困窮の事態から救われる機会が増える。本市として介護保険組合や後期高齢者医療広域連合に対して機会を捉えて働きかけていきたい。

小矢部市も延滞金減免を

【砂田市議】延滞金について、市は減免していないが、利率は8・9%で、懲罰的な高い利息である。

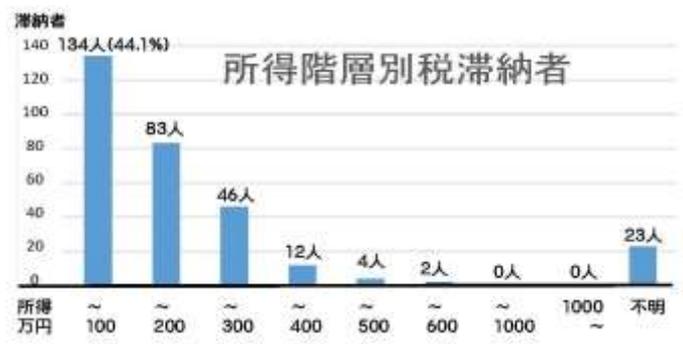
税金や社会保険料が低所得者の暮らしを圧

解説 小矢部市の減免基準

失業等で所得が著しく減少した場合、生活保護基準の1・2倍以下の収入で、蓄えも生活保護基準の5ヵ月分もない人を救っている。

迫している。横着で滞納しているのではなく、払いたくても払えない深刻な実態がある。滞納者の44・1%、ほぼ半数近くの方が所得100万円以下の低所得者である（グラフ参照）。

そこで延滞金の減免を求めたい。分納して滞納分を完納したら免除するくらいにしたらどうか。高岡市では延滞金の減免を実施している。



【総務部長】延滞金の免除は困難だが、ただ市税等延滞金取扱要綱では、災害や病気、事業の廃止、その他やむを得ない事由がある

と認められる場合は延滞金の減免できる規定を持っている。納税相談のときに納税者の立場に立って、そのことを周知している。

どの公共施設でも磁気ループシステムを無料で

【砂田市議】高齢による難聴者が増え、公民館や各種講座などで話が聞きにくいからと、参加しなくなる方もいる。その解決策として移動式の磁気ループシステムを公共施設に配備してどうか。これはバリアフリーのためだから、使用料は取らないことを確認する。

【教育委員会事務局長】市民交流プラザ

に、どの部屋でも利用できる移動式磁気ループシステムを導入した。利用者には無料で利用できるようにした。

市民交流プラザでの使用と重ならない範囲で公民館での無料貸出も検討したい。